



PTAと連携した家庭教育支援について紹介します！

家庭教育支援班

県教委では、保護者の縦と横のつながりをつくり、小学校入学前から中学校卒業まで継続した家庭教育支援※の体制を構築する「PTAと連携した家庭教育支援の在り方に関する調査研究事業」を4年計画で実施しています。モデル中学校区に選定された中学校区では、PTAが中心となり、参観日や学校行事、就学時健康診断等の機会を活用して、子育て講座や先輩保護者と語る会等の活動を行っています。

※家庭教育支援・・・保護者が安心して子育てを行うことができるように、地域の子育て経験者等が、保護者に学習機会の提供や相談対応、情報提供等の支援活動を行うこと。

【モデル中学校区】

令和元年度	下関市立 彦島中学校区	萩市立 萩東中学校区	光市立 浅江中学校区	美祢市立 大嶺中学校区	周南市立 富田中学校区
令和2年度	宇部市立 厚南中学校区	山口市立 白石中学校区	山陽小野田市立 厚陽中学校区	柳井市立 大畠中学校区	岩国市立 川下中学校区
令和3年度	下関市立 玄洋中学校区	防府市立 華陽中学校区	下松市立 下松中学校区	光市立 室積中学校区	長門市立 日置中学校区
令和4年度	下関市立 長府中学校区	宇部市立 東岐波中学校区	山口市立 秋穂中学校区	岩国市立 錦中学校区	周南市立 住吉中学校区

【モデル中学校区の具体的な取組】

- ・先輩保護者や先生方を交えた子育てサロンや相談会の運営
- ・学校の約束や子育て情報をまとめた子育て支援冊子の作成
- ・食育研修会やアンガーマネジメント研修会等の開催
- ・不登校のお子さんをもつ保護者の方を対象としたカフェの運営
- ・制服や体操服等のリユース交換会の実施 等



子育て講座の一場面

【参加した保護者の声】

- ・引っ越して来て相談する相手がいなかったが、多くの保護者の方と繋がりができ、不安が軽くなった。
- ・自分の子どもが入学する学校の雰囲気や約束等を事前に知ることができて、安心することができた。
- ・育児について、みんなも自分と同じ悩みや不安を抱えながら、人知れず頑張っていることが分かり、気持ちが楽になった。
- ・この取組を通して、学校の先生方や保護者の方たちが、みんなで子どもを育てようとしているのだと分かり、心強くなった。

今回紹介した学校の中には、PTA組織の中に家庭教育を支援する部会を新たに設けた学校があります。子育てについてPTAが主体となり、保護者同士が互いに支え合う体制づくりが県内に広がっています。

社会教育主事講習が実施されました！

青少年教育班

令和4年度の社会教育主事講習が、全国14の会場（大学や生涯学習推進センター等）で開催され、山口県からは、九州大学、広島大学、島根大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センターの4会場で36名が社会教育について詳しく学びました。受講生は7月中旬から講習を受け始め、講習を終えています。（島根大学の講習は、現在も実施期間中です。）

講習では、社会教育主事に必要な資質や能力、その役割等について、講義や視察等を通して学び、その内容を個人やグループでレポートにまとめました。

10月7日（金）に開催する事後研修会では、受講生一人ひとりが講習で学んだことを発表するとともに、講師の話を聞いて、更に学びを深めます。



今年度の受講生が、今後それぞれの場所において学んだことを生かし、学校・家庭・地域が一体となった山口県教育の取組を更に盛り上げていくことを期待しています。

【受講生の感想】

- ・ 社会教育についての知識が少ない中で参加したので、見ることも聞くことも全て新鮮でした。社会教育施設、社会教育主事の役割や熱意等、たくさんのことを学ぶことができました。
- ・ 教員だけでなく行政、NPO 法人、公民館職員などいろいろな人が講習に参加されていたので、立場によって見方や考え方が違っていることを知ることができ、自分の視野を広げることができました。

地域協育ネットコーディネーター養成講座・ステップアップ講座、 家庭教育アドバイザー養成講座・ステップアップ講座を開講しています！

地域連携教育班

県教委では、地域学校協働活動に係るコーディネーターや家庭教育に係るアドバイザーを養成するために、標記研修会を実施しています。研修を通して、コーディネーターやアドバイザーとして必要な知識・技能を身に付け、各地域における学校・家庭・地域の連携体制の構築や、教育支援活動の一層の推進を図るための活躍が期待されます。

【受講生の感想】

- ・ この研修での学びを地域や学校で生かし、自分たちが住んでいる校区が大切なふるさとと思えるような活動になるように取り組んでいきたい。
- ・ 学校運営協議会と地域学校協働活動の関係についての説明があり、コーディネーターの立ち位置が少しわかってきた。
- ・ 一人で抱え込むことなく、後にバトンタッチする人が喜んで活動できるコーディネーターになりたい。



12月3日(土)の特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事 竹原和泉先生の講義「これからの連携・協働の在り方とコーディネーターの役割」はスポット受講も可能です。興味のある方は各市町教育委員会、あるいは当課までお問い合わせください！